

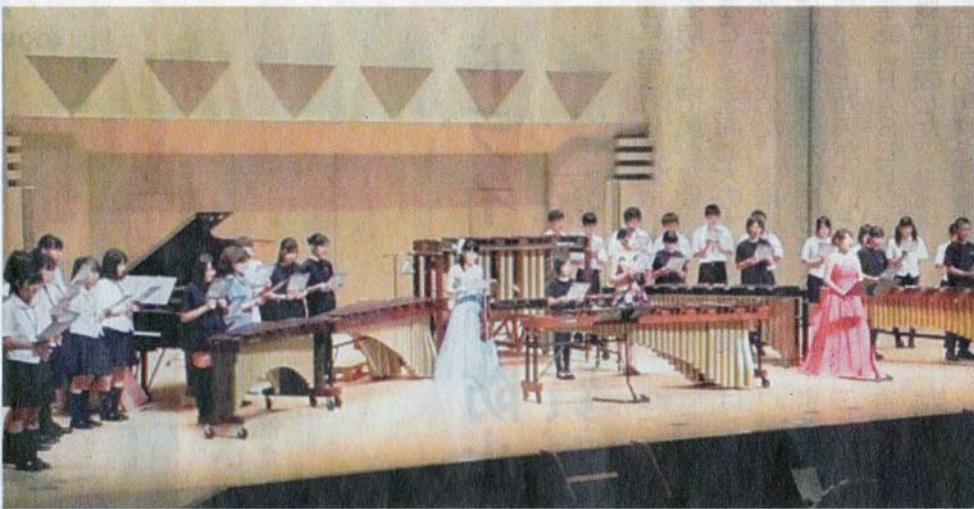
新聞

[第3種郵便物認可]

「地域部活」で感性磨いて

文化系掛川で4月から

プロの音楽家ら指導



複数の中学校の生徒が集まって行う「地域部活」が4月から掛川市で始まる。合唱や演劇、放送といった文化系活動を幅広く行い、プロの音楽家や舞台俳優から定期的に指導が

受けられる。文化・芸術教育を行う一般社団法人「ふじのくに文教創造ネットワーク（FCN）」が主導するもので、「新しい部活の選択肢を生徒に提示したい」としている。FCNによると、県西部の公立中学の多くは、吹奏楽部や美術部など限られた分野しか文化系の部活動がないという。この地域部活では、年間を通して多ジャンルの活動を展開し、SPAC（県舞台芸術センター）の俳優やプロの歌手から指導を受けられるほか、発表会で共演することができる。

FCNの斉藤勇理事は「中学時代から幅広い芸術を体験できる貴重な機会。学校の部活が教員の多忙につながっているとの指摘がある中、そうした問題の解消にもつながれば」と期待する。

地域部活は、県内では磐田市が「学校の部活動にない競技をした歌や演劇の専門家から指導を受けたり、共演したりできる地域部活のイメージ」ふじのくに文教創造ネットワーク提供

活動は週3日で部費は無料。「掛川市美感ホール」（掛川市亀の甲）を拠点とし、県西部に住む新中学1年生を対象に参加者を募集している。FCNは、2020年度に1〜3年の全学年をそろえ、将来的には高校生も活動に加えたい考え。2月4日には、同ホールでスタート記念式典が行われる。詳細はFCN（0537・28・7380）へ。【井上知大

イメージ写真：県内出身のアーティストと地域の中高生たちによる共演
（ふじのくに・ユニバーサル・ミュージック・フェスティバル in Fuji 2015 “夏の祭典”にて）